

3公演セット券

全席指定

限定数販売

クラブ同時入会可

発売：7月16日(水) [会員：7月12日(土)]

料 金 [通常価格 27,000 円のところ]

TOPPANホールクラブゴールド会員

21,000円

TOPPANホールクラブレギュラー会員／一般

24,000円

単 券

発売：7月23日(水) [会員：7月19日(土)]

料 金 一般：9,000円 U-25：4,500円

第 1 夜

2025年11月11日(火)
19:00

第 2 夜

2025年11月12日(水)
19:00

第 3 夜

2025年11月13日(木)
19:00

ハゲンプロジェクト *Finale Part 2*

第 4 夜 2026年7月初旬

シューベルト：弦楽四重奏曲第13番 イ短調 D804 《ロザムンデ》ほか

第 5 夜 2026年7月初旬

シューマン：弦楽四重奏曲第3番 イ長調 Op.41-3 ほか

主催：TOPPANホール

特別協賛：鹿島建設

TOPPANホールWEBチケット www.toppanhall.com

TOPPANホールチケットセンター 03-5840-2222

チケットぴあ t.pia.jp

[Pコード] 11/11公演 299-462
11/12公演 299-465
11/13公演 299-469

ローソンチケット l-tike.com

[Lコード] 11/11公演 33597
11/12公演 33646
11/13公演 33745

イープラス eplus.jp

会員優待割引およびセット券は、「TOPPANホールWEBチケット」「TOPPANホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。
*U-25券(席の限定有)は、TOPPANホールチケットセンターで販売いたします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*託児サービス【要予約・有料】：公演日1週間前までにイベント保育Kidventureへ、
右記二次元コードよりお申し込みください。

※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※開場は開演の30分前となります。



交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69] [飯64] 「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

TOPPANホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200
www.toppanhall.com



豊島美術館

あしたに必要なものをつくる。
人々の心や地球がやせ細るものではない、
希望と呼べるものをつくる。
人が次へ生きるために、KAJIMAはつくる。

「人が生きる」に
つながるものをつくる。

100年をつくる会社
鹿島

TOPPAN HALL

2025/26 SEASON



25th
TOPPAN HALL
since 2000



HAGEN Quartett
PROJECT
Finale
PART
- 1 -



室内楽の深奥、
弦楽四重奏のさらなる深みへ
ハーゲンQ、最後の旅路

2025/26シーズンををもってハーゲン・クアルテットがその活動を停止するという報は大きな衝撃をもって世界を駆けめぐった。絶頂のさなかで引退するというのはあまりにも残念ではあるが、老境の域に入った彼らを想像するのは難しいので、正鵠を失わない賢明な判断だと感嘆せざるを得ない。

振り返ると2001年春、ウィーンでベートーヴェン後期弦楽四重奏曲全曲というプログラムでの出演を要請したところ「そんなプログラムを弾かせてくれるの!」と快諾してくれたのがハーゲン・クアルテットとTOPPANホールの最初の出会いだ。2003年にクロースドの公演で初めてホールに姿を現し、数小節弾き始めてすぐに「ここで(ベートーヴェン)後期を弾けるんだね!」とライナーが嬉しそうに呟いた。すでにそのころ彼らはコンツェルトハウス・ウィーンやウイグモアホールでツィクルスを毎シーズン展開するなど、若手クアルテットの中でも抜きんできた存在だったが、いまから振り返ると、自分たちが弦楽四重奏という世界の中で、何をすべきか、何をめざすべきか、と模索している時期でもあったように思う。それがこのベートーヴェン後期全曲の提案を受け、ヨーロッパ各地でも同様の企画を展開し、以降、次第に何を弾き何は弾かなくていいかという選別を進めていく。まさにそういうタイムリーな時期だった。その後のベートーヴェン全曲演奏の提案もワールドワイドな展開に発展し、いろいろな意味で彼らが世界のトップに登りつめる過程に非常に深くコミットメントできた幸福な時間と機会をいただけたように思う。

ザルツブルクに生を享けながら、「伝統を現代に継承する」こととは、「旧習を墨守する」ことではなく、作品が生まれた当

初の創造のエネルギーをいまに蘇らせることだと考え、様々なチャレンジをしてきたハーゲン・クアルテット。TOPPANホールは、時に“彼らのいま”のテーマを一緒にクリエイトし、時に“その想い”を最大限に投射できるホールとして大きな役割を果たしてきた。今回彼らが2026年7月、クアルテットとしての最後の公演をここTOPPANホールで締め括りたいと指名してくれたことは、そうした関係の証左としてとても誇らしくうれしく思う。

振り返ると、彼らの読みの深さとその挑戦的な姿勢を前面に押し出したものという意味では、2017年のシューベルト&ショスタコーヴィチ ツィクルスがその最たるものだった。シューベルトが19世紀のウィーンの作曲家であることを超え、現代に繋がり生きる感性としてショスタコーヴィチと結び合い、見事によみがえった瞬間だった。「この2人の作品を並べて複数のプログラムをやることは、とても意味のあることなんだ」と力強く語っていたクレメンスの姿がいまも眼に浮かぶ。それが今回〈ハーゲン プロジェクト フィナーレ〉の初日プログラムをJ.S.バッハと共に飾るのはある意味必然で待ち遠しい。第3夜は2015年にこちらが強く願って実現したJ.ヴィトマンとの共演が契機となつて、のちに完成されたヴィトマン作曲のクラリネット五重奏曲が日本初演される。第2夜のウェーベルンの作品もハーゲン・クアルテットによってその魅力の全貌が広く世に明らかにされた作品として忘れることができない。いわば十八番のレパートリー。ハーゲン・クアルテット最後の崇高な輝きを見逃すことなかれ。

プログラミング・ディレクター
西巻 正史



2025
第1夜 11/11 TUE 19:00

J.S.バッハ
フーガの技法 BWV1080より コントラプンクトゥス I~IV
J.S.Bach: Contrapunctus I~IV aus "Die Kunst der Fuge" BWV1080

ショスタコーヴィチ
弦楽四重奏曲第8番 ハ短調 Op.110
Shostakovich: Streichquartett Nr.8 c-Moll Op.110

シューベルト
弦楽四重奏曲第15番 ト長調 D887
Schubert: Streichquartett Nr.15 G-Dur D887

2025
第2夜 11/12 WED 19:00

ベートーヴェン
弦楽四重奏曲第16番 ヘ長調 Op.135
Beethoven: Streichquartett Nr.16 F-Dur Op.135

ウェーベルン
弦楽四重奏のための5つの楽章 Op.5
Webern: Fünf Sätze für Streichquartett Op.5

ウェーベルン
6つのバガテル Op.9
Webern: Sechs Bagatellen für Streichquartett Op.9

シューベルト
弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D810 《死と乙女》
Schubert: Streichquartett Nr.14 d-Moll D810
"Der Tod und das Mädchen"

2025
第3夜 11/13 THU 19:00

with イェルク・ヴィトマン (クラリネット)
with Jörg Widmann, clarinet

ヴィトマン
クラリネット五重奏曲 (2017/日本初演)
Widmann: Klarinettenquintett (2017/Japan premiere)

モーツァルト
クラリネット五重奏曲 イ長調 K581
Mozart: Klarinettenquintett A-Dur K581



ハーゲンとTOPPANが育んだ、信頼と情熱の絆—— 世界を魅了したクアルテット、歴史を刻む伝説の最終章が、いま始まる!

ハーゲンプロジェクトフィナーレ PART 1